

事務事業名	図書館総務管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	社会教育G	
	施策名	〈27〉生涯学習の推進		課長名	和田 邦夫	
	目的・対象	市民	意図	生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする。	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2241
	担当者名	三島 祐一		予 算 科 目	0:1:5:0:0:2 2:5:2:5:0:1	
基本事業	〈081〉学習環境の充実		大 事 業 名	図書館総務管理事業		
目的・対象	市民	意図	充実した施設・設備を利用する。	中 事 業 名	図書館総務管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
・市民	・住民に親しまれる図書館運営を目指すとともに、生涯学習情報の提供を行う。 ・住民の多種多様な自主的学習の要求に応え、教養を高める。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・市立図書館及び図書室運營業務委託 ・雲南市図書館協議会(雲南市図書館体制のあり方及び業務内容について審議を行う教育委員会の諮問機関)の開催 ・図書館システム管理運用
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・業務委託先と図書館運営についての協議 ・雲南市図書館協議会の開催及び報酬等支出事務 ・備品購入に係る協議、支出事務 ・施設修繕に係る協議、支出事務 ・図書システム管理運用 ・図書館独自の普及・啓発活動(司書体験、よみかたりのじかん等)	・大東:H29年度からH30年度にかけて施設の改修を行ない、H30年6月リニューアル。 ・掛合:掛合総合Cと掛合交流Cの複合化に併せ、H30年4月リニューアル。 ・永井隆記念館図書室:記念館の施設整備事業に併せて整備。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 来館者数(3館)	人	81,895	48,708	58,006	62,000
イ レファレンス件数(3館)	件	3,408	3,711	3,339	3,500
ウ 資料返却サービスによる資料配送数	冊	14,940	12,123	13,796	14,000
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
修繕費 36千円	財源内訳	国庫支出金	千円			100
委託料 27,891千円		県支出金	千円			
使用料及び賃借料 2,823千円		地方債	千円			
備品購入費 939千円		その他	千円	798	800	790
計 31,689千円		一般財源	千円	32,228	31,369	31,689
※このほか、書籍27冊(3件)の寄附あり	事業費計	千円	33,026	32,169	31,689	30,892

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	年間を通じて、感染症対策を取りながらの図書館運営となったが、来館者数は回復傾向にある。
② 事業実施するうえでの課題	・雲南市の図書館行政と民間業者による管理運営ノウハウを相乗的に発揮することによって、ソフト・ハード両面における図書館運営の充実を図る必要がある。 ・現在、新型コロナウイルス感染症対策の一環として施設の利用制限を行なっているが、適切なタイミングで順次解除していく必要がある。 ・各種企画展示に取り組み、生涯学習機会の充実や情報発信に取り組み必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・大東、加茂、木次の市立図書館3館については、H23年度より株式会社キラキラ雲南への業務委託に移行した。専門性の高い職員による安定的で柔軟なサービスの提供が可能となっているほか、図書館以外の返却場所を設置する等サービス向上や図書館相互での圖書のやり取りなど、3館の連携が進められている。また、読み語りなど、委託先が行う他の事業と連携した活動もあり、さらなる連携強化を図る。 ・永井隆記念館図書室、吉田図書室および掛合図書センターについても、施設指定管理者へ業務を委託することにより、適切な施設運営がなされている。